



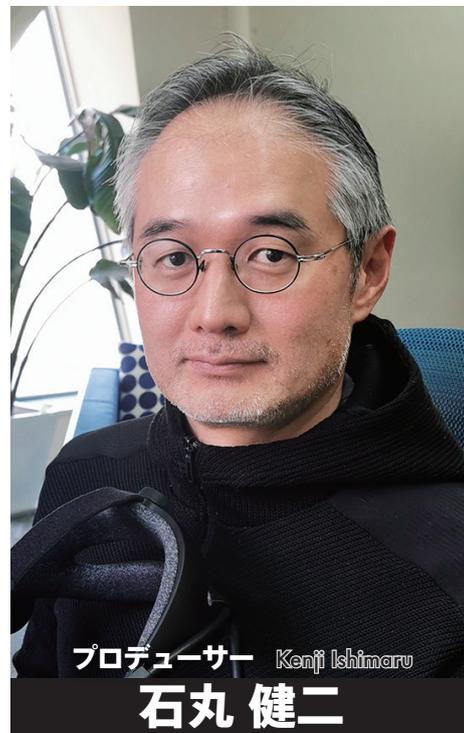
原作 Yoko Ogawa

小川 洋子 オンライン出演



監督 Koji Yamamura

山村 浩二



プロデューサー Kenji Ishimaru

石丸 健二

ADAAクリエイターズトーク

VRアニメーションデザイン ～大賞作品『耳に棲むもの』をとおして～

日本を代表する二人のストーリーテラーが作り上げたVRアニメーション作品「耳に棲むもの」。小説家、小川洋子さんが初挑戦したオリジナルアニメーション原作をVR初挑戦の山村浩二監督が引き継ぎ、いかにVRアニメーション作品に落とし込んでいったのか？企画の立ち上げから脚本開発・コンテンツ制作のプロセスに沿って二人の挑戦を紐解きます。

NT. ×
DESIGN



3.15²⁰²⁴ (Fri.) 15:00-16:30

福岡美術館 2階 ギャラリー
(福岡県福岡市中央区大濠公園 1-6)

入場無料
下記QRコードから
要事前登録

会場参加
登録 50名



オンライン
視聴登録



【司会】

松隈 浩之 (Hiroyuki Matsuguma)

九州大学大学院芸術工学研究院准教授

【登壇者プロフィール】

小川 洋子 (Yoko Ogawa)

小説家

大学卒業後、1988年「揚羽蝶が壊れる時」で海燕新人文学賞を受賞してデビュー。主な著書「妊娠カレンダー」、「博士の愛した数式」、「密やかな結晶」、「ことり」、「掌に眠る舞台」など。最新刊はエッセイ集「からだの美」(文藝春秋社刊)。

山村 浩二 (Koji Yamamura)

アニメーション作家・絵本作家

1990年代は子供向け作品を制作。「頭山」(2002)が第75回アカデミー賞にノミネート、アニメーション、ザグレブ他6つのグランプリを受賞、「今世紀100年の100作品」の1本に選出される。「カフカ 田舎医者」(2007)がオタワ他7つのグランプリを受賞、アニメーション監督作品の受賞は140を超える。2021年、過去25年間の優れた世界の短編監督25人のトップ2に選出。長編「幾多の北」(2021)がアニメーション・コントロール・クリスタル賞とオタワでグランプリを受賞。絵本「おやおや、おやさい」(文:石津ちひろ)「ちいさなおおきなぎ」(文:夢枕 獺、第65回小学館児童出版文化賞受賞)「ばれーど」(文・絵)など100タイトルを超える絵本に携わる。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞、紫綬褒章受賞。映画芸術科学アカデミー(米)会員、ASIFA日本支部理事会員、日本アニメーション協会副会長、東京藝術大学大学院映像研究科教授。

石丸 健二 (Kenji Ishimaru)

株式会社講談社VRラボ代表取締役・プロデューサー

2005年から13年間CGプロダクションのポリゴン・ピクチュアズのプロデューサーとして映画・テレビシリーズ・プロジェクションマッピングなど幅広いメディアの映像を手掛ける。2018年に講談社VRラボの代表取締役に就任後は、VRに特化した映画の企画・制作し、さらにVRアイドル「Hop Step Sing!」のVRミュージックビデオやVRライブをプロデュースするなど、多様なジャンル・トピックスのVRコンテンツを世界に向けてリリースし、国際映画祭等で高い評価を獲得している。主なプロデュース作品は、2023年にオタワ国際アニメーションフェスティバルでベストVR賞受賞した山村浩二監督・小川洋子原作の「耳に棲むもの」、2022年にベネチア国際映画祭ノミネート、ADCゲーム部門金賞を受賞した作道雄監督の「Thank you for sharing your world」、2021年にザグレブ国際アニメーション映画祭でベストVR賞を受賞した水尻自子監督の「オタワムレ」など。

